



一般社団法人 静岡県安全運転管理協会



菊川地区、藤枝地区安管協会の活動紹介

「交通死亡事故現場診断」を実施！（令和2年6月中）

菊川地区、藤枝地区安全運転管理協会では、この6月中に、地区内において発生した交通死亡事故の再発防止を期して、新型コロナウイルス対策を講じた上で管轄警察署が実施した「交通死亡事故現場診断」に参加し、これからの交通事故防止対策等について協議しました。

【菊川地区】

6月15日（月）、菊川警察署、菊川市役所、交通安全協会地区支部等の関係団体と菊川地区安全運転管理協会から事務局長及び本年度推進事業所「日本特殊塗料(株)静岡工場」の安全運転管理者が出席し、合計10名により、全員マスクを着用するなど新型コロナウイルス対策を講じながら、

5月18日（月）の午後、御前崎市池新田地先の市道で発生した交通死亡事故（バイクと軽四乗用が出会い頭に衝突した交通事故、バイクの79歳女性が死亡）の事故現場診断を行いました。

この事故現場は見通しの良い直線道路で、現場診断及び検討会を実施した結果

- 直線道路で見通しが良く、安易に走行してしまった可能性があり、ゆとりもった運転に心掛ける。
- 通行車両や付近住民、会員事業所に対する交通事故防止の広報啓発活動をさらに推進する。

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【菊川署員の事故状況説明】



【参加者により再発防止検討会を実施】

【藤枝地区】

6月18日(木)、藤枝警察署、藤枝市役所、交通安全協会地区支部、地元自治会等関係団体と藤枝地区安全運転管理協会から会長、事務局長及び本年度推進事業所「村上開明堂」「藤枝市社会福祉協議会」の4人が出席し、合計14人により

6月10日(水)の深夜、藤枝市高柳地先の市道で発生した交通死亡事故(自動二輪車が道路脇縁石に接触し転倒した単独事故、運転の16歳男性が死亡)の事故現場診断を行いました。

この事故現場は長い直線道路から大きく右カーブしている場所で、夜間は照明が暗く見えにくい箇所があり、現場診断及び事故防止対策を協議した結果

- 直線道路のスピードのままカーブへ入ることを防止するため、路面標示やカーブのわかるカラー舗装、または自発光式反射鋲等を設置する。
- 運転者や付近住民、会員事業所に対する交通事故防止の広報啓発をさらに推進する。

などの事故防止対策に関する意見が出されました。



【藤枝署員から事故状況を説明】



【事故の発生現場を確認】



【参加者により再発防止対策を協議】